

2021年7月9日

原子力規制委員会
委員長 更田 豊志 様

伊方等の原発をなくす愛媛県民連絡会議
代表幹事 和田 宰
日本共産党愛媛県委員会
委員長 林 紀子

伊方原発の保安規制定抵触問題、三菱不正問題などに関する申し入れ

7月2日に愛媛県と四国電力が明らかにしたのは、2017年から2019年の間に繰り返された保安規定不適合事案でした。原発の運転期間中を含めて「配管接続班長」不在の時間があったという事態であり、住民の命と安全を無視した暴挙が繰り返されていました。もはや四国電力は原発を運転する資格に欠けると言うほか無く、再稼働日程など破棄させるべきです。

7月7日に開催された第19回原子力規制委員会が、四国電力の保安規定抵触問題について触れないまま終了したことは、驚くべき機能喪失です。更田委員長が四国電力に「福島を忘れてしまったのか」と苦言を呈したと報じられましたが、これは委員会終了後に記者から問われてのこと。委員長はなんら伊方の問題ふれないまま委員会を閉じようとし、思い出したように「トピック2件ありますが、よろしいですか」と問うただけ。誰も意見を述べず閉会してしまいました。ズサン極まりない扱いであり、これは、四国電力の再稼働を認めてきた規制委員会の判断の信憑性を失わせるものです。

なお、三菱グループとの関係についても問います。三菱電機の資料ねつ造が問題になっていますが、三菱重工が建設した伊方原発においてこれらの部材が一切使われていないのかどうか、至急調査させ明らかにさせるよう求めます。さらに、伊方の特重施設を施工したことを明らかにしている三菱重工は、新型軽水炉のプランを同重工技報 Vol.57 に掲載しています。断じて原発の新設など許されるものではないことも合わせて申し入れます。

ついては、以下の3点を申し入れます。

- (1) 「配管接続班長」不在という保安規定逸脱のまま原発を運転した暴挙と、長期に是正されなかった事態は許されるものではなく、伊方3号機の再稼働日程は白紙撤回させること。
- (2) 保安規定逸脱に一言も議論しない原子力規制委員会の機能喪失は明らかであり、これまでの設置許可申請への審査結果に信頼性はなく、伊方3号機は運転をとめたまま廃炉に向かわせること。
- (3) 三菱電機の資料ねつ造に関し、伊方原発に一切その関連部材はないのか、調査させ明らかにさせること。新型炉開発などに手を染めず、安全な廃炉を確実にさせることに専念すること。